

令和元年度第1回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和元年8月28日(水)に、当研究所において令和元年度第1回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事前評価4件、事後評価1件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

令和2年度から研究を開始する研究課題4件に係る事前評価、平成30年度に終了した重点化研究1件に係る事後評価を行いました。

【事前評価 4件】

[基盤研究]

- ① 世界文化遺産富士山の構成資産を流れる「福地用水」の継承に関する研究 (R2～R4)
- ② 抗酸化物質の摂取が富士登山者の急性高山病症状軽減に及ぼす影響 (R2～R4)
- ③ 火山防災マップの信頼性向上に資する数値シミュレーション技術の高度化 (R2～R4)
- ④ 富士山にかかわる自然災害の防災教育支援システムの開発 (R2～R4)

【事後評価 1件】

[重点化研究]

富士火山北麓における噴火実態の検証 (H28～H30)

3 研究課題に対する評価結果

- (1) 新規課題4課題に対する総合評価点(5段階評価)は、3.7～4.1(平均3.9)で、全ての研究課題について、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。
- (2) 重点化研究・事後評価1課題に対する総合評価点(5段階評価)は4.0で、「妥当」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:平成30年8月1日～令和2年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平 田 徹	山梨大学 名誉教授	生態・環境学
副委員長	石 原 和 弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大 山 勲	山梨大学生命環境学部 地域社会システム学科 教授	地域・都市計画
委員	曾 宮 和 夫	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政
委員	坂 本 宏 史	健康科学大学 理学療法学科 教授	神経解剖学
委員	森 口 祐 一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

令和元年度 第1回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時: 令和元年8月28日(水)11:00～

場所: 富士山科学研究所 2階 第1会議室

評価区分	研究種目	研究課題名	期間	評価点
事前評価	基盤	1 世界文化遺産富士山の構成資産を流れる「福地用水」の継承に関する研究	R2 ～R4	4.0
		2 抗酸化物質の摂取が富士登山者の急性高山病症状軽減に及ぼす影響	R2 ～R4	4.1
	研究	3 火山防災マップの信頼性向上に資する数値シミュレーション技術の高度化	R2 ～R4	3.9
		4 富士山にかかわる自然災害の防災教育支援システムの開発	R2 ～R4	3.7
事後評価	重点化研究	1 富士火山北麓における噴火実態の検証	H28 ～H30	4.0